

英米文化学会会報

第 91 号

平成 24 年 5 月 15 日



アメリカ南部の朝は、コーヒーに加えて甘いワッフルか、グレイヴィーを添えたサザンビスケット、卵とカリカリに焼いたベーコン、南部を語る上で欠かせないトウモロコシ粥のグリッツなどで始まる。旅の朝に、そうしたものを供する店を見つけると、その日いちにちが嬉しくなる（撮影：佐野 2005 年）

目次

- ◆ 例会担当より 英米文化学会第 138 回例会のお知らせ
- ◆ 大会担当より 英米文化学会第 30 回大会（9 月開催）のお知らせ
- ◆ 抄録の書き方 当学会での発表・投稿予定の会員必読
- ◆ エッセイ 夢にみるもので双方が驚いた話（佐藤治夫）
- ◆ 財務担当より 平成 24 年度年会費納入について
- ◆ 事務局より 会報の電子化・『英米文化』の発刊について

◆ 英米文化学会 第 138 回例会のお知らせ

（例会担当理事： 河内裕二）

日時：平成 24 年 6 月 9 日（土）午後 3 時 00 分～6 時 00 分

午後 2 時 30 分受付開始

場所：日本大学歯学部 4 号館地下一階第セミナー室<地図は 4 ページに掲載>

（JR 御茶ノ水、営団千代田線新御茶ノ水、都営新宿線小川町他下車）

懇親会：会場：日本大学歯学部 3 号館地下ラウンジ

時間：午後 6 時～8 時 懇親会のみ参加も歓迎いたします。

会費：1,500 円

開会挨拶

英米文化学会理事長

佐藤治夫（日本大学）

（3：00—）

研究発表

1. バーネットの『秘密の花園』における駒鳥について

（3：10—3：50）

発表 小林多恵子（創価大学大学院）

司会 佐野潤一郎（創価大学）

2. Power of the text: two most influential Russian and English language Bibles

（3：50—4：30）

発表 Grigoriy Kazakov (Moscow State University, RUSSIA)

司会 北林光（大東文化大学）

----- 小休止（4：30—4：40） -----

3. 公立学校の教員を対象とした Spirituality 教育についての意識調査

（4：40—5：20）

発表 安山秀盛（城西大学）

司会 中山誠一（城西大学）

閉会挨拶

英米文化学会会長

小野昌（城西大学）

（5：20—）

例会继续して臨時総会を開催します

（5：30～5：50）

研究発表抄録

1. バーネットの『秘密の花園』における駒鳥について

発表 小林多恵子（創価大学大学院）

バーネット (Frances Eliza Hodgson Burnett) の『秘密の花園』(*The Secret Garden*, 1909) は、孤独な少女メアリーが自然とともに成長をしていく作品である。気難しい性格のメアリーにとって、最初にできた友達は人間ではなく、1羽の駒鳥であった。この駒鳥は、メアリーと同じく孤独な少年コリンの成長も見守るように、物語の全体にわたって登場する。作中には、羊や狐、兎そして鳥など野生動物がしばしば現れるが、その野生動物の中でも、駒鳥はより人間との距離が近くメアリーの心を解きほぐす存在として描かれている。野鳥は駒鳥以外にもいたはずであるが、なぜこの作品では駒鳥に、しかも特定の1羽のみに焦点が当たっているのか。本発表では、駒鳥の登場が物語の出発点であることを例証し、キリストの伝説を踏まえつつ、駒鳥の行動がメアリーやコリンの再生にどのように関わっているのかを論じる。

2. Power of the text: two most influential Russian and English language Bibles

発表 Grigoriy Kazakov (Moscow State University, RUSSIA)

Although separated by a lag of over 350 years, the Authorized Version of the English Bible (1611) and the Synodal Russian translation (1876) had similar social and linguistic influences in the two countries.

The King James Bible was preceded by several translation attempts made in the 16th century and was encouraged by the Crown while Russia did not have a Russian text of the Christian Holy Scripture until late 1800s and the translation process was carried out with significant impediments from both the government and Church authorities.

The reasons for that lay in different religious and linguistic situations which England and Russia experienced before their vernacular versions of the Bible saw the light. Latin, which preceded English as the language of the Scriptures, and Slavonic, which was (and still is) the language of the Russian Orthodox Church, were seen differently in relation to people's living tongues. The peculiarity of the situation in Russia in the early 19th century was such that Russian Emperor Alexander I read the Gospel in French.

However influential, the Authorized Version and the Synodal text satisfied only one of the two main criteria of Bible translation, and a need for new ones emerged. As a result, dozens of new translations into English have been performed over the last 400 years whereas the only alternative full Russian version was published in 2011, arousing heated debate. The explanation of this discrepancy also lies in historical and social factors.

This presentation is part of a wider research focusing on the role of sacred words and writings in languages and national cultures.

3. 公立学校の教員を対象とした Spirituality 教育についての意識調査

発表 安山 秀盛(城西大学)

本研究では、日本の公立小中高等学校の教員 152 人を対象に Spirituality という言葉や概念がどのように受容されているか、また Spirituality を意識した教育類型に対してどのような反応が示されるかを質問紙を用いて調査した。質問紙は 1 項目の自由記述と、11 項目からなる 5 点尺度の選択肢で構成されている。選択肢は、個人の Spiritual Development (精神性発達度)を測定する目的でフィンランドのティリらが開発した SSS 尺度(Spiritual Sensitivity Scale)を用いた。分析の結果、回答者は Spirituality という言葉に対して比較的高い反応を示し、また、Spirituality を意識した教育類型の中で、自然への尊敬・畏怖を育む教育に賛意を示すことが明らかになった。本発表ではこの調査結果について検討を行う。

* 例会会場（日本大学歯学部） 例会は4号館地下・懇親会は斜向かいの3号館地下です。



(JR 御茶ノ水、営団千代田線新御茶ノ水、都営新宿線小川町他下車)

◆ 英米文化学会第 30 回大会（9 月開催）のお知らせ
(大会担当理事：松谷明美)

第 30 回英米文化学会大会

日程：平成 24 年 9 月 8 日（土）・9 月 9 日（日）

場所：山梨県立大学（A 館 6 階のサテライト教室）

〒400-0035 山梨県甲府市飯田 5-11-1 TEL 055-224-5261 FAX 055-228-6819

徒歩：JR 中央本線 甲府駅 南口 徒歩 20 分

バス（JR 中央本線 甲府駅 南口 山梨交通バス乗車場 4 番線）：

中央病院經由竜王駅行き → 「飯田三丁目」下車、徒歩 7 分

長塚行き・長塚經由敷島営業所行き → 「飯田三丁目」下車、徒歩 7 分

中央病院行き・中央病院經由敷島営業所行き →

「飯田三丁目」下車、徒歩 7 分

飯田經由敷島営業所行き → 「飯田三丁目」下車、徒歩 7 分

アクセスマップについては、<http://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/info/map>をご覧ください。

◆抄録の書き方

当学会での発表・投稿予定の会員必読

1) 抄録の目的

英米文化学会では、例会での研究発表の抄録を学術研究上重要なものと位置づけており、研究発表そのものの評価を左右するものと考えている。抄録は、研究発表内容が容易に理解できるように作成する。また発表の場に不幸にして出席できなかった、他の研究者にも研究発表の内容(論理展開と結論)について、容易に類推できるような書き方を採用しなければならない。また、発表時の発表資料の先頭部分には、最終的に受け付けられた、抄録を掲載するものとする。

抄録は発表者が行った研究の内容を表すものであるから、前書き、引用、統計処理への直接の言及、図表の提示などは避け、研究の直接の目的、方法、考察、結論が容易に理解できる文体を採るものとする。特に結論部分に「したい」とか「試みる」のような、実際に発表で行ったかどうか、後で抄録を読む他の研究者が判断できないような書き方は避ける。結論部分は、「論じる」「考察する」「紹介する」「評価する」などの実際に発表の場での発言内容を示す言葉で結ぶ。

2) 抄録の書式

抄録は、以下の書式の条件を満たしているものとする。

イ：タイトル

a) 和文タイトル タイトルに書籍名がはいる場合は、特殊な場合を除き出版年などの書誌データを入れない。

b) 英文タイトル

ロ：氏名

共同研究成果の発表では、実際の発表者を筆頭にする。代表者の口頭発表で、ここに記入されている全員に、口頭発表のクレジットが付与されるので、筆頭者のみが口頭発表すればよいものとする。発表者が発表途中で、ここに記入された研究者と交代することは許容される。

ハ：所属

発表者が複数に渡る場合は、全員の所属を提出するものとする。

ニ：抄録の本文

本文の字数は、和文抄録の場合は全角文字 350 字以上 400 字以内とし、英文抄録の場合は 200 語以内とする。

3) 抄録の用語

イ：直接の研究対象に関する、日本国外の人名・地名は、初出時に括弧つきで原語表記を付けるものとする。

ロ：専門用語を外国語で直接表記する場合は、カタカナを付ける。またその専門用語に日本語訳があれば必ず付ける。抄録では専門用語についての解説・説明は行わない。

4) 提出

抄録の提出には、上記事項をもれなく記載して、担当理事宛てに、電子メールの本文に添付して送信する。

5) 書直しの要求

担当理事は、抄録の書体統一ならびに上記の観点から、発表申込みに当り抄録の書直しを要求することがある。

◆ エッセイ

夢にみるもので双方が驚いた話

佐藤治夫

シューベルトの歌曲集『冬の旅』11番「春の夢」後半に、次のような歌詞(独和)がある。

Ich träumte von Lieb' um Liebe,	夢に出てきた相思相愛の
Von einer schönen Maid,	美しい乙女
Von Herzen und von Küssen,	二人の心 二人の口づけ
Von Wonne und Seligkeit.	至福の時 幸せの時よ

自分で翻訳するときにも違和感があったのだが、歌って見ると更につらくなる。私には、「私が夢を見た」(ich träumte)が、目的語として Wonne(無上の喜び) Seligkeit(歓喜)を取ることが、高校生の時からの謎であった。目に見えないものを夢で「見た」という部分がオカシイ！という風に約40年ほど感じてきた。

昨年オーストリアでドイツ詩の朗読を教えていただいた先生に、もしかしたら Seligkeit に具象的なものを指す用法があるのかと思い、質問したが、質問の仕方が悪く、同席した日本人の歌手から、「それはね、幸せという意味よ」と、大変もったもんな指摘をされてしまい、先生の方は何を言ってるんだかわからないわよ、のようなお顔になってしまい、ウヤムヤに。

今年は、足の手術をして、ウィーンで暮らしている英語も堪能な同じ先生を訪ね、一対一での質問セッションが実現して、やっと上記の質問を詳しく説明したところ、驚くべき(私にだけかも?)お答えが返ってくる。以下は、再現会話。

「え？気持ちや感情を夢見ることはフツーじゃありませんこと？」「えっ、えー、先生、私は画像を伴わない夢は見たことがないから理解できません。」「私は終戦時に、侵入してきたソ連軍から、家族と一緒に逃げ回った夢を見るのだけれど、画像なんかなくて、コワかったという感情の思い出を夢に見るのよ。あたりまえじゃないの。佐藤先生は、そういう夢は見ないの？それとも日本人は、絵がついていない夢って知らないの？でも、日本で長いこと教えたけれど、そんなこと尋ねた人はいませんでしたけどね。」「ええ、ですから、昨年からこれを伺いたかったのです。私にはシューベルトの歌詞が理解できないのです。」「うーん。不思議だわね。」「日本語では Traum sehen (see a dream)と表現するのです。ですから、見えないと夢じゃないんです。」「ええー！？知らなかったわ。」

日本語では、夢を「見る」のだが、ドイツ語では(英語もそうだが) träumen, dream 一語なのに、日本語への翻訳という作業を通すと、そこがボヤけて来ることに、その場で双方とも気がつきました。日本でドイツ語を教えているときには、ich träumte は「私は夢を見ました」と「説明」すると学生が理解していたので、まったく気がつかなかった(まあ、こんな妙なことに気にする人は少ないだろう)ようです。

ああ、どうか読者よ教えてくれたまえ。あなたは夢を「見る」？それとも「夢る」？絵の無い夢って見る？ドイツ語文化圏でも、そんなことを話題にしないようなので、興味を覚えた先生は早速周りの人に尋ねるそうである。上記の歌詞に違和感がないなら、あなたはドイツ語文化圏型、納得できなかった私は日本語文化圏型？でも、敬愛するその先生が仰るのだから、幸せだったときの気持ちを夢に見る点については、歌詞としてありうると納得したから、私はメダシメダシ。

◆財務より 平成 24 年度年会費納入について

(財務担当理事：山根正弘)

平成 24 年度年会費の納入をお願い致します。

今回は紙の会報に代わる「お知らせ文書」に同封の郵便振替用紙をご利用ください。

なお、平成 23 年度以前に未納がある場合も、この機会にお願いします。

納入状況は、山根正弘 MasahiroYamane(at)SES-online.jp に問い合わせ下さい。

年会費 : 5, 000 円

口座番号 : 00160-7-611777

加入者名 : 英米文化学会

◆事務局より 会報の電子化・『英米文化』の発刊について

(事務局担当理事：田嶋倫雄)

会報の電子化について

昨年よりご報告しております通り、平成 24 年度より従来の会報の郵送を廃止いたしました。本年度はホームページにて引き続き電子版の閲覧が可能ですのでご覧ください。本年度は、例会・大会のお知らせは葉書にてお伝えいたしますが、来年度以降はホームページにて情報を閲覧・検索していただくということになりますので、ご了承ください。

平成 23 年度の『英米文化』の発刊について

事情により、編集作業が遅れており、発刊は 6 月になる見込みです。また、旧事務局よりの発送となりますので、ご承知おき下さい。

英米文化学会会報 第 91 号 編集／発行：英米文化学会 編集責任者：佐野潤一郎

英米文化学会事務局 〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13 日本大学歯学部 英語研究室内

E-mail:MichioTajima(at)SES-online.jp

年会費等振込先：郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777

学会ホームページ <http://www.SES-online.jp/indexj.html>